

STEP 2

おいしい荒尾の水

WATER PICK UP

水道水をおいしく飲もう



ちょっとした工夫で水道水をよりおいしく飲むことができます。ぜひお試しください。

●おいしい水の簡単レシピ

- ①水道水にレモン汁を数滴(適量)入れる。
- ②半日、冷蔵庫で冷やす。

企業局職員のおススメの水の飲み方

◆企業管理者 村上寧浩



毎日、水道水にレモンを入れ、冷蔵庫で冷やして飲んでます。食事の前には水道水に青汁の素を入れて飲むようにしています。寝るときは枕元に水の入ったペットボトルを置いてます。就寝中は体から多くの水分が失われるので、寝る前と起きたあとは、水を飲むことをお勧めします。

◆企業局総務課参事 小宮智和



6年前から、一晩寝かせた水道水を一日に3ℓほど常温で飲んでます。以前はよく発熱していましたが、水道水を飲むようになってからは、病気をあまりしなくなりました。水道水はインフルエンザ対策にも効果的といわれているので、うがいをするときにもお勧めです。

荒尾市では、残留塩素・色・濁りの3項目の検査を市内18箇所で行っています。また、51項目の検査も市内9箇所で行っています。他にも水質管理に必要な検査を行い、皆さんに届ける水の安心・安全を徹底しています。企業局には24時間職員が常駐し、道路からの水漏れなどさまざまなトラブルにも対応しています。



▲監視室

おいしい水を
しっかり管理！

水質項目	おいしい水の要件	荒尾市の水★
蒸発残留物	30～200mg/ℓ	198mg/ℓ
硬度	10～100mg/ℓ	90.7mg/ℓ
遊離炭酸	3～30mg/ℓ	13.8mg/ℓ
過マンガン酸カリウム消費量	3mg/ℓ以下	0.2mg/ℓ未満
臭気強度	3以下	1未満
残留塩素	0.4mg/ℓ以下	0.35mg/ℓ
水温	20℃以下	19.4℃

※厚生労働省が設置したおいしい水研究会が定めた数値
★平成25年度の6配水区の年間平均値

左の表は、おいしい水の要件※を数値化したものです。荒尾の水は全ての要件を満たす、おいしい水であることが証明されています。

◆**主な用語解説**
【蒸発残留物】 水が蒸発したあとに残る物質で、主にミネラル。適度に含まれるとこくのあるまろやかな味がする。
【硬度】 カルシウムとマグネシウム。硬度が高すぎるとしつこい味がする。
【遊離炭酸】 水中に溶けている炭酸ガス。地下水に多く含まれ、水に爽やかな味を与える。
【過マンガン酸カリウム消費量】 有機物の量。有機物が多いと消毒に使う塩素が多く必要になり、味を損なうことも。
【残留塩素】 水道水に残る消毒用に添加した塩素量。塩素が残っているのは適切な消毒が行われている証。濃度が高いとカルキ臭がする。

Interview



企業局建設課 近本一宏

担当：水質管理・上水道施設管理

水は毎日の生活に欠かせない大切なものです。市民の皆さんの生活に直結する水道事業に携わることができ、誇りに思っています。荒尾市には豊富な地下水だけでなく、ありあけ浄水場などで使われる先進的な技術もあります。荒尾の水はおいしい水の要件をきちんと満たし、きめ細かな管理がなされています。これからもおいしくて安全な水をお届けできるよう頑張ります。

◆中央配水区の水の流れ



WATER PICK UP

ありあけ浄水場までの水の流れ

- 1 菊池川**
県北最大の河川。荒尾市は菊池川の水利権を持っています。
- 2 白石堰**
菊池川の中流域にあり、ここから川の水を取り入れます。
- 3 上の原浄水場**
不純物を取り除き、水道水の原水と工業用水を作ります。
- 4 金山分水場**
ありあけ浄水場と有明工業用水(長洲方面)に行く水に分かれます。
- 5 ありあけ浄水場**
不純物を取り除き、消毒して水道水を作ります。

高性能で環境に優しい ありあけ浄水場

ありあけ浄水場は荒尾市と大牟田市が共同で作った日本で初めての県境を越えた浄水場です。災害が起きたときには、両市で水を供給し合うことができますので、災害に強い浄水場といえます。中央監視室には職員が24時間常駐し、安心・安全な水の管理をしています。一日に720万ℓを荒尾市へ、千800万ℓを大牟田市へ、合計で25mプル87杯分の原水を水道水に変えて送水しています。

浄水場では、浄水処理にセラミック膜を使ったろ過方式を採用。原水の不純物を完全に除去することができます。高性能のシステムです。①敷地内にソーラーパネルを設置②セラミック膜でろ過した不純物を肥料として使用できる③金山分水場から浄水場までの高低差を利用して水を送ることで電力を抑えられるなど環境に優しい浄水場でもあります。

▲膜ろ過装置

▲セラミック膜